

本県学校体育の課題と施策

<課題>

本県の児童生徒の体力は、新体力テストの結果から、全国平均値よりも高い状況にあります。しかし、令和元年度及び令和3年度については、平成30年度に比べて体力の低下が見られました。全国的に、日常的な身体活動の減少や運動をする子供とそうでない子供の二極化、スポーツを「する・みる・支える・知る」といった多様な視点からの関わりを考えることが課題とされ、本県でも同様の傾向があります。また、本県では、「運動・スポーツが好き」「やや好き」と感じている児童生徒の割合が全国平均よりも低い結果となっています。

学校体育においては、すべての児童生徒に対して、運動への関心や自ら運動する意欲、運動の知識、技能など、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現、継続するための資質・能力を育成することが必要です。そのため、体育授業だけでなく、学校教育活動全体で体力向上に取り組むとともに、家庭や地域と連携した取組が必要となってきます。

また、部活動は学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するとともに、体力向上にも大きな役割を果たしております。国の示すガイドラインや「県方針」に則り、適切な運営のための体制整備、合理的で効率的・効果的な活動や適切な休養日等の設定、生徒のニーズを踏まえた環境の整備など具体的な取組を進めていくことが求められております。そのためにも、指導者が研鑽を積み更なる資質向上に努めることや専門的指導力を有する外部人材の活用を一層充実させることが課題であります。

<令和4年度 埼玉県教育行政重点施策（枠組み）(案) >

重点項目1 確かな学力の育成

重点項目2 豊かな心の育成

重点項目3 健康の保持増進と体力の向上

○新体力テストの実施と体力プロフィールシート等の活用による一人一人の体力の向上

○運動好きな児童生徒を育成するための授業改善

重点項目4 特別支援教育の推進と一人一人の状況に応じた支援

重点項目5 キャリア教育・職業教育の推進

重点項目6 障害者雇用の推進

重点項目7 教職員の資質能力の向上と学校の組織運営の改善

○学校における働き方改革の推進

○不祥事根絶に向けた取組の推進

重点項目8 県立学校施設の整備

重点項目9 家庭・地域との連携と生涯にわたる学習の推進

重点項目10 文化・芸術の振興

※下線部は体育・保健体育・運動部活動が特に係わること